



連携いあい

平成30年3月
第19号
岩手県立磐井病院

平成29年度両磐地域県立病院運営協議会について

事務局次長 高橋 和彦

平成30年2月6日（火）に「両磐地域県立病院運営協議会」が開催されましたので、その概要についてお知らせします。

当協議会は「二次保健医療圏内の県立病院の円滑な運営を図り、もって地域住民の医療及び保健衛生の向上に寄与するため」設置され、行政機関や学識経験者、各種団体の代表者などの方々に委員を委嘱させていただき、年一回開催しております。

当日は、初めに、磐井、千厩、大東及び南光病院の各病院長から、各病院の運営状況について、スライドを用いてそれぞれ説明を行い、委員の皆様から病院に対する質問やご意見を伺いました。

委員からは、南光病院の退院促進と身体拘束・隔離に関する質問があったほか、精神障がいの患者さんとの地域の中での関わり方についての質問がありました。

また、禁煙などの保健活動についての市町と連携した取り組みに関する意見が出されました。

続いて、大東病院から地域との連携活動の取り組みについて説明を行い、関係機関との様々な意見交換会の実施や、健康懇談会、ボランティア活動の状況などが紹介されました。

最後に、委員から、地域病院のあり方と今後の医師配置の動向について質問があり、これに対し医療局長から、現在、県が行っている医師確保の取り組みの状況について説明がされたほか、地域病院については、医療と介護福祉が連携して、地元で安心して暮らしていけるような体制をとるための機関として位置づけ、トータルで地域の医療を守っていくというようなことで取り組んでいるとの説明があり、その後閉会となりました。

当協議会は、様々な立場の委員の方々を通じて、両磐地域の県立病院の現状をお知らせするとともに県立病院に対するご意見をお伺いできる場であり、頂いたご意見等は今後の病院運営に反映させていきたいと考えております。

なお、当協議会の資料及び会議録は、当院のホームページに掲載しているほか、岩手県または県南広域振興局の行政情報サブセンターで閲覧できますのでご覧ください。

<岩手県立磐井病院 理念>

地域の皆様に納得のできる医療を提供します

<岩手県立磐井病院 行動指針>

- ① 患者さんの希望や背景を尊重します。
- ② 患者さんの個人情報を守ります。
- ③ 患者さんの安全に配慮し診療に全力を尽くします。
- ④ 地域における医療・介護・福祉の連携に貢献します。

Contents

- 平成29年度両磐地域県立病院運営協議会・・・1
- 両磐地域緩和ケア医療従事者研修会を開催・・・2
- 平成29年度「連携ボックス」の利用状況・・・2
- 平成29年度こころば「よろず講演会」・・・3
- 手術室の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- クリニカルパス大会の報告・・・・・・・・・・4
- 平成30年度緩和ケア・テレカンファランス・・・4

『第10回両磐地域緩和ケア医療従事者研修会』を開催しました

当院は「地域がん診療連携拠点病院」に指定されており、がん診療に携わる医師・歯科医師・看護師等の医療従事者を対象とした研修会を毎年開催しています。

この研修会は一関市医師会との共催で、開始当初は医師のみを対象としたものでしたが、平成25年度（第6回）から、厚労省の方針により医師以外の医療従事者も受講できるようになっています。今年度は奥州市や宮城県の施設からも応募をいただき、医師・歯科医師・研修医13名、看護師2名、薬剤師4名、MSW（医療ソーシャルワーカー）1名の合計20名の参加となりました。

当日は、疼痛や症状などに対する評価・治療などの基本レクチャーから、コミュニケーションや事例検討では加者間でのロールプレイ・グループでのワークショップ等の形式も取り入れ、盛り沢山ですが積極的に学べる内容となっています。

次年度以降も引き続き開催予定ですので、参加希望の方は地域連携室までご連絡ください。

県内外を問わず、多数のご参加をお待ちしております。



【研修会の様子】

平成29年度「連携ボックス」の利用状況

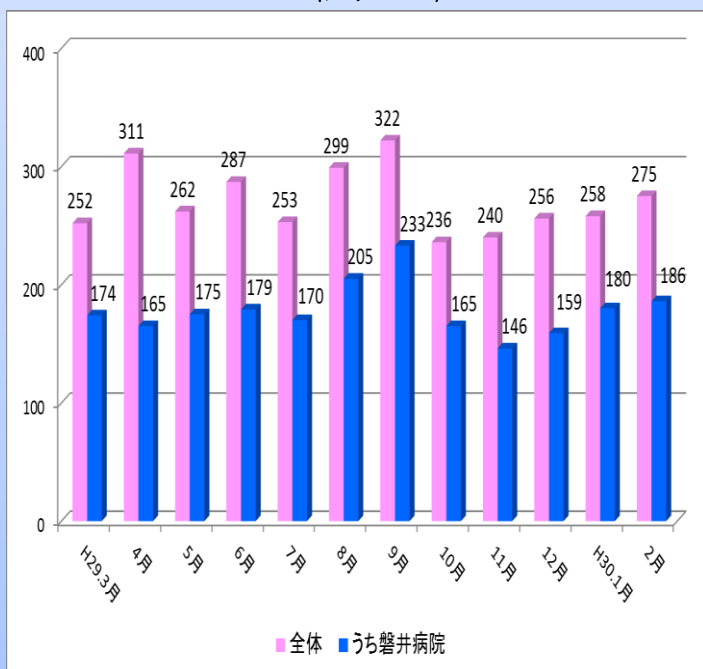
両磐広域の医療機関を中心に医療画像データの送受信を行っている『連携ボックス（一関医療連携ネットワークシステム）』について、直近1年間の利用実績をご報告します。

現在の参加医療機関は29施設（10病院29診療所）、全体では月平均で約250～300件程度の利用があり、うち約2/3が磐井病院との連携で使用されている状況でした（グラフ1）。

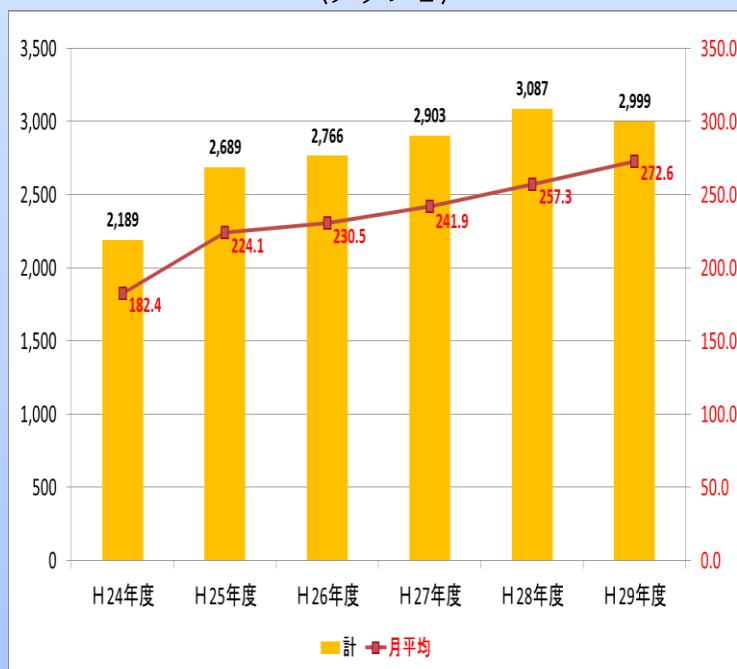
また、年間の利用実績では着実に利用件数が増えており、導入当初の平成24年度から比較すると年間で約1千件の増加となっています。（グラフ2）。

今後も、迅速な患者紹介・診療のため、当該システムをご活用いただければ幸いです。

〈グラフ1〉



〈グラフ2〉



※H29年度はH29.4～H30.2月までの実績

平成 29 年度「よろず講演会」の開催状況

当院では、がん患者・家族サロン「こころば」の主催において、地域の方々にがんに関する知識を提供し生活に役立てていただくため、定期的に「よろず講演会」を開催しています。

今年度は下記のとおり 3 回開催し、いずれの講演も大変ご好評をいただきました。特に人気のあった演題は、東北大学病院 宮下 穰先生の『乳がんの治療について』の講演で、がんの治療方法だけでなく、がんとの向き合い方や情報収集の仕方までをわかりやすくご説明いただき、参加者からまた聞きたいとの声も多く寄せられました。



【宮下先生による講演会の様子】

また、講演会後にはお悩みや疑問点について雑談形式で講師と直接話せる『茶話会』も開催しており、皆様、普段は聞けないこと、話せないことを講師と納得するまでお話しすることができることから、こちらでも大変好評を得ております。

来年度も皆様のお役に立つ様な講演会を企画しており、患者だけでなく医療従事者の方向けの演題も用意しておりますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。来年度の開催日程は次号（5 月頃発行）でお知らせする予定です。

開催日	演題	講師
7 月 4 日（火）	知っておきたいストーマのケア方法	磐井病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 千葉 良子 氏
12 月 19 日（火）	乳がんの治療について ～標準治療から最新治療まで～	東北大学病院 乳腺・内分泌外科 医師 宮下 穰 氏
2 月 16 日（金）	抗がん薬について	磐井病院 薬剤師 高橋 大 氏

手術室の紹介

手術室 看護師長 中村 利江

手術室では、常勤の麻酔科医師 2 名と 20 名の看護職員で、年間約 2200 件の手術を行っています。医師・看護師・臨床工学技士・放射線技師・薬剤師・検査技師など多職種が連携し、患者さんが安全・安楽に手術に臨むことができるよう、万全な準備と最善の医療の提供に努めています。

看護師は患者さんに一番近い立場から、少しでも手術・麻酔への不安が軽減できるよう術前・術中・術後の看護に取り組んでいます。術前訪問は全身麻酔での手術ではほぼ 100%実施できており、術中の看護に役立てることができています。今年度からは特に術後訪問に力をいれており、患者さん 1 人 1 人の声を大切にして今後の手術看護に活かしていきたいと考えています。

さらに、手術室には岩手県第 1 号の手術看護認定看護師がおります。日々進化する手術医療に対応できるよう、知識・技術の習得に努めています。



【手術室スタッフ】



【手術の様子】

平成 29 年度クリニカルパス大会の報告



クリニカルパス委員会 副委員長 佐藤 光恵

当院では H30 年 2 月 9 日に公開パス大会(4 回目)が開催されました。院内発表『帝王切開パスの見直し～多職種で見直す～』とトヨタ記念病院形成外科部長の岡本泰岳先生の『クリニカルパスを本当に知っていますか？使っていますか？～今あらためて学ぶ基礎と本質～』のご講演を頂きました。参加者は 75 名(院内 56 名・院外 19 名)となり県外からの参加者が前回より多くみられました。

院内発表では、産婦人科病棟より BFH の導入に伴い適用率の高いパスを多職種で見直し検討することで、より患者に対する指導やケアが充実できるパスに修正できたという発表でした。栄養科がお祝い膳を提供する日を検討し、薬剤科が薬剤指導を 2 回導入、医事課が適切な入院日数を検討、医師や看護師がケア内容の見直しを行なうことにより質の高いパスへと修正できたと思います。クリニカルパスの作成や見直しは、多職種で連携し実施していくことが重要だと感じました。

岡本先生のご講演ではパスの基礎から質の改善まで幅広いお話でした。医療における質保証は、患者に必要とされる医療を的確に安全に行なわなければならない、クリニカルパスは見直しや最適化を図ることにより標準化した医療の提供のツールとなる。また患者用パスを使用することで提供する医療の見える化を担っており、質の高い医療に繋げることが出来る。またバリエーション分析は SDCA (Standardize・Do・Check・Act) サイクルを活用することでパスの異常に素早く気づくことができ、現場における質の保証にも繋がり、より標準的なパスの作成が出来ることでした。『成果は、志の高さと情熱の掛け算』という熱い講演を頂き、日頃よりパスの作成や運用、取り組みに悩むことも多々ある委員会のメンバーも、少しずつ高い目標や目的を持って今後の活動に活かしていければと感じることができました。

平成 30 年度「岩手緩和ケア・テレカンファランス」開催日程のお知らせ

岩手県内病院全体の緩和医療のレベルアップを図ることを目的に、岩手医科大学附属病院主催のもと、「緩和ケア・テレカンファランス」を毎月第 3 月曜日 18:30 より、当院の多目的会議室で開催しております。このカンファランスは、岩手情報ハイウェイ(テレビ会議システム)を利用して、県立病院が持ち回りにて症例を提示し症例検討を行っているものです。

当院もこのシステムを利用して参加しており、地域の医療従事者の参加も受け付けておりますので、ご興味をお持ちの方はぜひご参加ください(事前申込不要)。

緩和ケア・テレカンファランスについて、お問い合わせ等がございましたら、**磐井病院 地域連携室**までご連絡ください。

【平成 30 年度開催日程表】

開催日	担当病院	開催日	担当病院
H30/4/16(月)	岩手県立久慈病院	10/15(月)	岩手県立中央病院
5/21(月)	岩手県立二戸病院	11/19(月)	岩手県立中部病院
6/18(月)	岩手県立大船渡病院	12/17(月)	岩手県立釜石病院
7/9(月)	岩手医科大学附属病院	H31/1/21(月)	岩手県立千厩病院
		2/18(月)	岩手県立胆沢病院
9/10(月)	岩手県立磐井病院	3/18(月)	岩手県立宮古病院



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17
電話(0191)-23-3452 Fax (0191)-23-9691
連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
病院ホームページ:<http://www.iwai-hp.com>
公式 Facebook:<http://www.facebook.com/iwaihp>